

## 平成25年度 第4回 利用者懇談会 議事録

文責：瓜生

日付：平成25年11月17日（日） 13：30～15：30

場所：喜多方市立図書館2階 第2閲覧室

出席者：別紙の通り

配布資料：①『平成25年度 利用者懇談会プログラム』

②『平成25年度 喜多方市立図書館 主要業務実施概要』

③『平成25年度 喜多方市立図書館 ご利用についてのアンケート』

④『平成25年度 喜多方市立図書館 利用者アンケート実施結果(中間発表)』

⑤『喜多方市立図書館 年報 平成24年度(2012年度)』

### 1. 開会

### 2. 主催者挨拶（館長）

### 3. 議事【進行：館長】

1) 図書館の現状（利用状況）及び利用者アンケート中間報告（別紙④）

2) ディスカッション

<テーマ>

①図書館の蔵書について（参考資料：平成24年度 図書館年報）

②図書館の催し物について（参考資料：平成24年度 図書館年報）

・企画してほしいもの

③図書館だよりの内容について（ご意見）

・ききみみずきん（一般用）

・わくわくとしょかんメール（児童用）

④催し物の広報手段について（ご意見）

⑤意見交換（ご意見・ご要望等）

**参加者A** 別紙④『利用者アンケート』の【(4)ご意見・要望】で「⑩本が探しにくい」とあるが、具体的にどう探しづらいのか。そこを掘り下げてアンケートをとってみてはどうか。

**回答** OPAC(検索機)が使いづらいという意見を以前いただいた事があった。今回は、本が探しにくい理由について盛り込んだアンケートを作成したい。

**参加者B** YA(ヤングアダルト)とは、何歳から対象となるのか。年齢で分けられているのか。図書館法などで定められ図書館共通なのか。

**回答** 大まかに、小学校高学年・中学生から高校生くらいがYA(ヤングアダルト)の対象になっている。喜多方市立図書館の場合、2階第1閲覧室にYAコーナーがある。

YA(ヤングアダルト)とは図書館法で定められたのではなく、図書館の資料のジャンル(一般書や児童書のような区分け)であり、ティーンズ(図書館をあまり利用しない年齢)に向けた棚をつくる事で利用を促している。全国の図書館でもYA(ヤングアダルト)コーナーを設置している所は多い。一般書と児童書と対象が重なるものもあり、ジャンル分けが難しい。

**参加者C** 同じ著者でも、作品によって児童書の棚や一般の棚(1階)にあったりYAの棚(2階)にあたりと、探すのが大変である。その区分けは図書館側の主観ではないのか。一般書の棚で良いような作品もYAの棚にあたりする。(例：恩田陸、上橋菜穂子)

(回答) 作品によってジャンルを跨ぐ著者は多い。区分けについては、図書館側の主観ではないかと言われても仕方がない。ジャンルをあまり区分けせず、まとめたほうが見やすい・使いやすいという意見があれば今後検討したい。

**参加者D** こどもとしょじつ(児童書の部屋)の知識の本が探しづらい。

**回答** 今後、こどもとしょじつのレイアウト変更も検討したい。

**図書館から質問** (図書館側から質問) 雑誌の購入について、雑誌の種類を増やしてほしいとの意見をいただく事がある。雑誌の種類・数は適切か。

**利用者より回答** 喜多方市の人口や図書館の規模からみて丁度いいと思う。

**参加者B** 永年保存とはどういう事か。会津嶺は永年保存の必要がないのではないか。

**回答** 主に郷土資料関係(福島・会津について書かれている資料)は永年保存の対象になっている。

**参加者B** 岩波ジュニア新書または岩波ブックレットは、購入しているか。

**回答** 両資料とも全点購入はしていないが内容を見て選書し購入している。

**図書館から質問→第二小学校教頭先生** 学校図書室の現在の利用(調べ学習)において市の公共図書館として協力できることはあるか。

**回答** 最近は調べる際にインターネットを利用する事も増えているが、学校側では、ただ読むだけではなく読書週間をつける事や地域の公共図書館を児童が利用するよう働きかけを行っている。家庭での読書を促進したい、これを図書館と連携して行いたい。

**参加者E** 別紙『喜多方市立図書館 年報』P24【8. 利用状況】について。年代別の利用状況などは算出できるのか。年代別に統計を取る事でそこから今後、改善していくべき図書館の課題を見いだせるのではないか。

**回答** 図書館年報には年代別の統計は記載していないが、年代別に算出する事は可能。以前統計を取って見たところ、小学生の利用は多かった。中高生の年代で利用が落ち込み、20代に利用が増えるが、30代にまた利用が下がる。その年代の生活環境に起因しているのでは？40代から年代が上がるにつれ徐々に利用は増えている。今後、統計を掘り下げて分析していきたいと思う。

**参加者B** 図書館を使った調べる学習コンクール レプリカ展示（夏休み期間中開催）をしていたが、レプリカの貸出はしないのか。市内の小学校でこのコンクールに参加した児童はいるのか。

**回答** 以前は貸出していたが、著作権が係わってくるので最近では館内での閲覧のみとしている。現在、小学校で参加した児童はいないと思う。しかし、入選作品レプリカは小学校で借りて学年ごとに閲覧した事がある。

**参加者A** 毎週木曜に新着図書が図書館に入るのに、なぜ新着図書の更新が月1回なのか。毎週、新着図書だけでも喜多方市立図書館HP上で更新して欲しい。また、携帯電話やスマートフォンからのHPアクセスが可能となれば尚良い。

**回答** 今後、検討・改善していきたい。

**利用者アンケートより** 予約本の準備が完了した連絡を電話ではなく、メールで欲しい。  
(参加者より) ①メールでの連絡の方が便利。

②メール連絡サービスは過剰である。電話連絡で十分。

電話で話をする事で図書館と利用者のコミュニケーションに繋がるのではないか。

(図書館から) メール連絡のサービスは、図書館が使用しているシステムの変更に必要であり、早急に可能なものではないが検討していきたい。

**参加者B** 図書館のパソコンシステムは構築・運営が難しいものなのか。

**回答** システムを図書館が購入し、運営管理はシステム会社に委託している。後にカスタマイズするとなると別途費用がかかる。

**参加者C** HPのアクセス数を増やすには、facebookやスタッフのブログなどを始めてみてはどうか。

毎回チェックするような、図書館に親しみを感じてもらえるようなHPにした方が良い。

**回答** 今後、検討したい。

**参加者D** 現在の図書館のHPはこども用のHPがない為、子どもは見づらい。こども用のページが欲しい。

**回答** 今後、検討したい。

**図書館から質問** 一般大人向けの催し物を増やしたいと考えているが、どのような催し物があったら参加してみたいと思うか。

**参加者より回答** 社会問題や時事ネタの講演会等よりは娯楽関係の方が集客が望めるのではないか。音楽会など（市内の小学生の演奏会）を行うなど。

**参加者F** おはなし会で使用するため、大型しかけ紙芝居（県立図書館所蔵）を以前県立図書館から借りたことがある。喜多方市立図書館が窓口になって貸出をしてくれないか。（相互貸借）

**回答** 喜多方市立図書館から県立図書館へ所蔵されている大型紙芝居や大型しかけ絵本等を確認しリスト化できるようにする。

**参加者A** 図書館のスタッフが使う用語が専門的で難しい。日常生活で使うような分かりやすい言葉で説明して欲しい。

（例：①一般的に「自己啓発」といわれるジャンルが図書館では「人生訓」である。

②リクエスト希望の図書が購入不可だった場合のお断り時の「謝絶」という言葉。）

**回答** 改善し適切な言葉の使用を徹底していきたいと思う。

《その他ご指摘》

**参加者E** 図書館だけでなく、民間企業や他地域の図書館と更に連携していくことでより充実した図書館になると思う。

**参加者D・G** 本が探しにくい。シリーズごとにもっとまとめて欲しい。

#### 4. 閉会